

2017年4月3日

各位

## 2017年度入社式 社長挨拶（要旨）

皆さん、おはようございます。入社誠におめでとうございます。  
本日、新たに39名の仲間を当社にお迎えすることを大変うれしく思います。  
日産化学グループ2400名を代表し、心から歓迎の意を表します。

今日社会人としての第一歩を踏み出す皆さんに、社長として、社会人の先輩として、心がけて欲しいことを3つほどお話します。

一つ目は、「誠実」ということです。当社グループは社風、企業風土として「誠実に、愚直に」を大事にしている会社です。私たちは化学会社に勤めるものとして、技術系・事務系を問わず、サイエンス、ケミカルに係わって仕事をしています。サイエンス、ケミカルは自然法則の上に成り立っています。自然法則は手を抜くと必ずほころびが出るものです。絶対にごまかしが効きません。このことを常に念頭に置き、コンプライアンス、法令順守を始めとして、企業人としての高い倫理性を持つことは当然ですが、「誠実に、愚直に」、一生懸命取り組むことしか成果を得ることができない、ということをお肝に銘じて頂きたいと思います。

二つ目は、「変化は進化」という言葉です。この言葉は私の入社以来の信念でもあります。企業は変革によって成長、発展を遂げるものですが、変革は過去の延長線上にはありません。現状に留まる企業に、市場は容赦なく退場を迫ってきます。つまり、変革を成し遂げるためには、これまでの経緯、目の前の仕事に対し、常に疑問を持つこと。皆さんは、大学で定理、定説を学んできましたが、これからは基本的に答えのない世界が待っています。すなわち、定理、定説を疑い、周囲を巻き込みながら、自分自身或いはチームで納得のいく解を導き出すこと。そのために自らの持つ能力・知恵を最大限に発揮する事が求められます。5月から配属される部署において、週、月、年単位で繰り返す業務も中には出てきます。この時大事にすべきことは、その業務を何とかして前とは同じようにしないことです。これには非常に多大な労力を要しますが、成し遂げるエネルギーが若い皆さんにはあると信じています。初めは失敗しても良いと思います。失敗から何かを会得して、人は進化します。是非、変化を創り出すことに挑戦してください。

そして三つ目は、「仕事を好きになる」ということです。  
「天才賞」(Genius Grant)とも称されるマッカーサー賞を過去に受賞したアンジェラ・ダックワース教授が著書「GRIT」、どんな困難にも耐える気概、根性という意味ですが、その中で、様々なデータを基に力強く主張しています。  
「どの分野であれ、人々が成功して偉業を成し遂げるには、才能よりもやり抜く力が重要である。そして、このやり抜く力は情熱と粘り強さという要素からできている」と。

私は入社して5年目の頃、今の仕事が自分にとって天職か否かで随分悩みました。

しかし、考えても分からない。そこで、徹底的に仕事をして、与えられた仕事をとことん面白くしてみようと割り切ることにしました。試行錯誤を繰り返す中で、ようやく今の仕事こそ天職だと、気づく瞬間がありました。悩みながらやり続けることで、自分の天職、使命とは何かを探す。このプロセスを経験することが大事だと考えます。

やり抜く力は、情熱と粘り強さでできており、それを身に付ける術は、「仕事と真正面から向き合い、好きになること」なのだと私は思います。皆さんも真摯に仕事と向き合い、心底仕事を好きになって頂きたい。その結果、やり抜く力が身に付き、質の高いパフォーマンスが発揮されます。好きこそものの上手なれ、ではないでしょうか。

これからも当社グループは存在感のあるエクセレントな化学会社への成長を目指し、いかなる困難も乗り越え、未来を切り拓いていかねばなりません。

その大きな目標に向かって、改めて当社グループの仲間として「共に夢に向かって頑張っていきましょう」という熱い歓迎の気持ちをお伝えして、私の挨拶とします。

本日は入社、誠におめでとうございます。

社長 木下小次郎

本件に関するお問い合わせ先

日産化学工業株式会社  
経営企画部 CSR・広報室

[TEL:03-3296-8320](tel:03-3296-8320)